

< あなたの治療について >

外科 – HER/ERB – 乳腺 -q3w

今回の治療は、HER/ERB という治療法で、トラスツズマブ（HER）とハラヴェン（ERB）という注射薬で治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目と8日目に点滴を行います。この治療を3週間（21日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~7日目	8日目	9~21日目
	トラスツズマブ (抗がん剤) 初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	点滴 初回 約90分 2回目から 約30分		お休み	お休み	お休み
	デキサート (吐き気止め)	点滴 約30分				
	ハラヴェン (抗がん剤) 1.4mg/m <sup>2</sup>	点滴 約5分				

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について（頻度20%以上）

トラスツズマブ、ハラヴェンについて

白血球減少、好中球減少、血色素量低下、赤血球減少、血小板減少、リンパ球減少、ヘモグロビン減少、食欲不振、嘔気、嘔吐、発熱、全身倦怠感、脱毛、AST (GOT) 上昇、ALT (GPT) 上昇、CK (CPK) 上昇、悪心、味覚異常、口内炎、食欲減退、疲労、末梢神経障害  
Infusion reaction

特徴的な副作用について

トラスツズマブにおける

心不全

「階段や坂道をすこしのぼっただけで息切れがする、疲れやすい；足がむくむ、横になると息苦しく座っている方が楽である、夜間にせき込む」などの症状

Infusion reaction

「発熱、悪寒、嘔気、嘔吐、疼痛、頭痛、咳、めまい、発疹、無力症等」などの症状

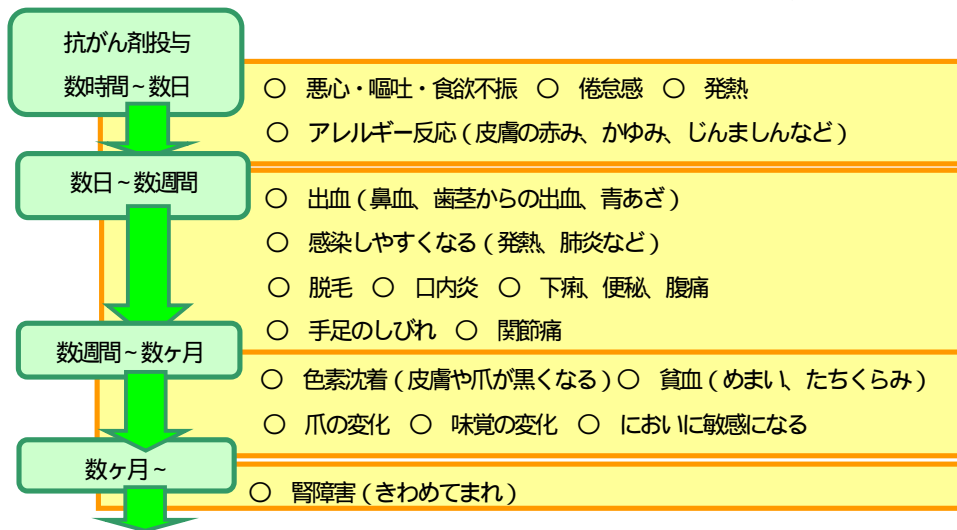
**\* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

## 副作用の発現時期の目安

\*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗がん剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



## 副作用の対策について

吐き気・嘔吐，下痢と便秘，口内炎，感染症，出血，貧血，脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

## 薬品毎の副作用について(添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋)

**まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。**

### 【トラスツズマブ】

<心障害>息切れ、胸がどきどきする、脈が乱れる、呼吸困難、息苦しい、胸が痛い、胸の圧迫感、胸が苦しい、咳が多くなる、ピンク色の泡のような痰がでる、寒気がする、冷汗が出る、手足がしびれる、発疹、じんましん、むくみ、かゆみ、発熱、尿の量が減る、立ちくらみ、血圧低下

<アナフィラキシー様症状>寒気がする、冷汗が出る、手足がしびれる、呼吸困難、息苦しい、息切れ、息をする時にヒューヒュー音がする、気管支が丸いれんする、胸が痛い、胸が苦しい、脈が速くなる、咳や痰が出る、ピンク色の泡のような痰がでる、発熱、立ちくらみ、低血圧、めまい、耳鳴り、頭痛、頭重、意識がぼんやりする、意識がなくなる、からだの力がぬける、発疹、じんましん、かゆみ、顔がはれる・むくむ、顔・舌・のど・くちびるがはれる

<間質性肺炎・肺障害>熱や咳が出る、痰が出る、息切れ、呼吸困難、頭痛、体がだるい

<白血球減少><好中球減少>熱が出る、体がだるい、のどが痛いなどのかぜのような症状

<血小板減少>

<貧血>

<肝不全><黄疸><肝炎><肝障害>食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる、体がだるい、おなかが張る、吐き気、おう吐、昏睡、手足・関節の痛み

<腎障害>尿が出にくくなる、尿が出ない、血尿が出る

<昏睡>昏睡、意識がなくなる

<脳血管障害>頭痛、吐き気、おう吐、意識がもうろうとする、片側の手足の麻痺、強いしびれ

<脳浮腫>手足のふるえ、筋肉痛、口が渇く、意識がぼんやりする、意識がなくなる、混乱する、呼吸の回数が増える

<敗血症>さむけ、ふるえを伴う急な高熱、脈が速くなる、呼吸困難、関節の痛み、血圧が下がる

### 【ハラヴェン】

<骨髄抑制> いつもより体がだるく熱っぽい、皮下出血がある

<感染症（敗血症、肺炎等）>寒気がする、ふるえを伴う急激な高熱がでる、脈拍が増加する、筋肉痛がある、関節が痛い、血圧が下がる、痰や咳が出る、息切れがする

<末梢神経障害>手足のしびれ、指先の痛み、冷たい・熱いという感覚が鈍くなる、手足に力がはいらなくなる

<肝機能障害>黄疸、浮腫（むくみ）、吐き気

<間質性肺炎> せき、倦怠感（だるさ）、発熱、息切れ

**上記のほかにも副作用が現れることがあります。**

**他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。**